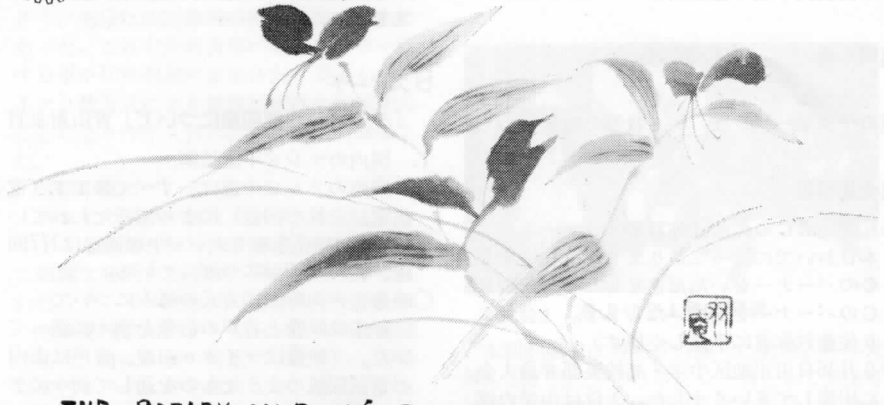




会報



THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ
OF TSURUOKA

斎藤得四郎氏 絵

会報はご家族みんなで読みましょう

第671回例会 1972.9.19 (火) 曇 No.12

例会日 火曜日 12時30分

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内

会長 阿部 囊 幹事 市川輝雄

Let's Take A New Look.!

「もう一度 見直そう」

■出席報告

本日の出席

会 員	数	63名
出 席	数	51名
出 席	率	80.95%

前回の出席

前 回 出 席 率	69.84%
修 正 出 席 数	52名
確 定 出 席 率	82.54%

欠 席 者

阿部(公)君、平田君、五十嵐(一)君、海

東君、金井君、三浦君、笹原君、斎藤(信)君、佐藤(伊)君、津田君、佐藤(昇)君、新穂君

マークアップ

森田君一米沢西RC

三井(健)君、佐藤(忠)君一酒田RC

石黒君、五十嵐(伊)君、廖君、手塚君、

富樫君一鶴岡西RC

■ビジター

犬飼朝太郎君一熱海RC

佐藤鉄弥君—札幌北RC
後藤 勇君—酒田RC
羽根田正吉君—鶴岡西RC
田宮長二君—温海RC

司会 阿部会長

ロータリーソング 「我等の生業」

会長報告

- 札幌北RCの佐藤鉄弥君がビジターとして本日おいでになっておりますが、札幌北RCのパーナーをいただきましたので鶴岡RCのパーナーを交換いたします。(会長より佐藤鉄弥君に手渡し交換す)
- 9月16日田川地区中学・高校英語弁論大会に出席してまいりました。1位は中学の部で鶴岡三中の佐々木アキラ君、高校の部で鶴岡南校の瀬尾ノリオ君でした。恒例によりクラブより賞状とカップを授与いたしました。
- 9月17日鶴岡市の第4回ボランティアの会が開催され、出席しロータリークラブとして挨拶、部会の助言者として一緒に討論してまいりました。若い学生諸君が一生懸命に社会奉仕をやるとうする意気ごみを感じ同じく社会奉仕をやっているロータリアンとして大変うれしく感じてまいりました。この大会には当クラブより昼食を寄贈いたしました。上野三郎君をはじめ会員の皆様のご協力感謝申し上げます。

幹事報告

- 会報到着
村山・石巻・石巻東・各RC
- チャーターナイトのご案内
旭川東RC 10月19日
旭川ニュー北海道ホテル
新所沢RC 11月12日 所沢市民会館
- 財団法人ロータリー米山記念奨学会は全国のロータリークラブの支持の下に、毎年、在日海外留学生に対して奨学金を供与して参りましたが、47年6月30日現在の普通寄附金納入明細表がまいりました。当353地区の寄附金累計は19,001,500円で、鶴岡クラブは463,500円で全国では333,521,205円

の寄附金累計となっております。
尚、本会の47年度評議員の委嘱として、第353区より9名で鶴岡ロータリークラブより張紹淵君、早坂源四郎君両名が委嘱されました。

スピーチ

「テレビの中継回線について」青山新永君

1. 国内のテレビ中継技術
国内のテレビ中継は、すべてNTT(電信電話公社の回線)によって行なわれている。昨年の7月末でテレビ中継回線は177回線、約50,000kmにのぼっている。
- 映像音声同時伝送方式の導入について
従来は映像と音声の信号を別々に送っていた。(映像はマイクロ回線、音声は市内の電話回線のようなものを通して別々にテレビ局まで来ていた。)これには次の様な問題があった。即ち、音声の回線構成が複雑であり、これに伴って保守上関連する局所が多かった。そのため、障害発生時に原因探究、究明、復旧に要する日間も長かった。またその他地方からの実況中継にも映像と音声を別々に引込む必要がある。また一般市内回線の品質が悪かったり、時には音声伝送路の作成も出来ないこともある。
こう云う問題点を解決するため、映像・音声同時伝送方式が実用化され69年12月に北海道で試験が行なわれ70年12月に全国実施となった。
- テレビ中継回線のループ化について
東京から全国各地へのテレビ中継線は名古屋・大阪・広島・仙台を経由する表日本ルートに集中している傾向が強い。その為一部の災害により全回線が障害を起す危険が多い。これを防止する為に、ループ化(一方がきれた場合に他方から映像音声を電送することが出来る)して、危険を防ぐため、東日本、西日本、北日本の3基幹ルートは夫々北陸回り、四国回り、北日本回りのルートを強化する事により、ループのバランスを計った。
- 本土—沖縄テレビ伝送について
従来本土→アマミ大島→沖縄本島へと白黒テレビ伝送を下り回線のみ行ってきた。しかし沖縄からの上り回線の要望が強く、1970年8月に白黒テレビの上り回線の中継

業務を開始した。本土のカラー化は1966年3月に実施されていたが、沖縄本土回線が白黒テレビで残された理由として、沖縄と本土間は「見透し外」のため伝送歪みが大きく、十分な伝送帯域が得られないためであった。これを沖縄復帰に際してカラー化する事が70年初頭に決定され、見透し内マイクロ波方式により新規伝送路を作成することになり今年5月15日にカラーも開通した。

2. 国際中継について

テレビの国際中継はインテルサット3号によって確立された世界衛星通信網を用いて順調な発展をとげた。回線利用も多岐にわたりテレビ外交などの新語も生まれた。

地球局及び国際テレビセンターの設備面の拡充、特に一個の衛星によるテレビ同時二伝送システムの完成により、国際テレビ回線の適応性は著しく増した。またテレビ標準変換装置の開発により、各国との実時間伝送における番組交換が容易に行えるようになった。1970年に入りインテルサット4号系衛星にアクセスするための地球局の整備が各国で開始された。日本では70年8月末茨城衛星通信所に設備を増設し、太平洋上に打上げられた4号(F-4)衛星を用いて運用が行なわれている。

○インテルサット衛星について

1965年4月に太平洋上にインテルサット1号(アーリーバード)が打上げられ、その後66~68年の間に2号系衛星を経て69年に3号が打上げられ、世界衛星通信網の完成をみた。更に71年1月に3号系の5倍の通信容量をもつ4号が打上げられた。太平洋上の第二4号に引継ぎ72年1月に太平洋上に第三4号が打上げられ、2月14日までに使用していた3号から第三4号にPoint Overされた。(3号に比べて4号は混変調、雑音の軽減、実効送信電力の増加などの改善がある)

現在、国際通信に使用されているインテルサット衛星は3号が2個(インド洋、太平洋上に各1個)4号8個(太平洋2個、太平洋に1個)の5個が打上げられている。

インテルサット加盟81ヶ国中39ヶ国が52の地球局に63のアンテナをおき(71.12末)これらの衛星を利用し各種の通信を行っている。

日本は茨城、山口の両地球局により太平洋地域の8ヶ国11地上局、インド洋地域9ヶ国9地上局と衛星中継テレビ回線を設定し交換をしている。以上



(右より2人日本間君)

本間利雄君は現在荘内銀行に勤務。昨年豪州に353地区からGSEの一員として派遣された。今度の278地区GSEの委員と行動を共にし渡豪中の過ぎし記憶を新たにしていると云う。先日の278地区GSE委員との交流感想文が寄せられた。

「オーストラリア278地区

GSEメンバーを迎えて」 本間利雄君

GSEのメンバーとしての訪豪を終え、約5ヶ月、一日としてあの素晴らしかった生活を思い出さぬ日はなかった。今度は彼地からMr.クラークを団長とする交換メンバーが鶴岡にやってきた。

9月4日新発田に出迎え、7日に象潟へ引継ぐまで懐しい連中と共に過ごせた事は新たな感激を喚起されるに充分な毎日であった。

終日、早坂地域委員長と高橋前幹事が自ら案内をされ、又斯界経験豊富な阿部先生が通訳をされた事により、僅か3日の滞在であったが、お互の意志疎通は極めて充分になされたと確信される。

次の行程に入らんとする時「鶴岡に直ぐ戻りたい」と云っていた彼等の心境は同じプログラムを経験した私にとって痛切に解かる。随分疲労もあったろうに、そして又彼地であった時はあんなにも豪州人そのものであった彼等が、本当に日本を知ろうとしている姿は真剣そのものであった。

車の中でこちらの求めに応じ陽気に唱い続け、又山伏のホラ貝をも見事に吹いたジョン君。暇があればすぐ寝るくせに見学時には目

を輝やかせて鋭い質問を発するピーター君、いかにも高校の教師らしく最も頼りがいのあるブライアン君、ゆっくりと話しかけてくるジェントルマン エディ君。そして日本の女性と日本の風景をこよなく愛すというブルース君は、鶴岡のサヨナラパーティーで大失敗をやらした。私から女性礼讃の日本語を聞き出した彼。「あなたキライです」を連発しながら握手を求めて歩いたものだ。オーストラリアなまりの一番強い彼が「あなたキレイです」を例の「エイ」を「アイ」と発音する習慣通りやった為、全く逆の意味になったものである（爾後かゝる失敗の無き様厳重に注意したのは勿論ですが）

クラブ団長も穴沢ドクター同様極めてエネルギーに、しかも細かい所まで気を配っておられ、団員から「パパさん」としたわっていました。

全く私の考え方ですが——このGSEのプランこそ次の世代の国際親善相互理解の為に最も適した事業ではないでしょうか？ 複数の人間が数多くの見聞のため、密度の高い有効な機会を与えられ、極めて多くの人々と接する事になるのですから——。

今後彼等が日本とオーストラリアの友情のかけ橋となる事を大いに期待される3日間だったと確信いたします。

ロータリー情報(8) 張情報委員長

ロータリー財団の目的は

1. 国際理解のための
2. ロータリー財団奨学金を含む
3. 確実で且つ効果的の企図をもって
4. 各国の国民間に
5. よりよき理解と、よりよき友好関係を増進さすことにある
6. ためには、財団の連続的推進の必要を忘れてはならない。

ロータリー財団の目標は

1. 全クラブを100%ロータリー財団クラブにすること。
2. 全ロータリアンをロータリー財団への寄付者にすること。

ロータリー財団の資金を増加する方法は何があるか

1. 結局に於ては、地区及びクラブが中央事

務局及びガバナー事務所から得られる情報及び経験を利用すること。

2. 地区ガバナーの指導及び事務総長の助言の下での計画をたてること。
3. 在校生を対象とすることを奨励されている。

「オーストラリア、278地区、GSEのポストとして」 三井 徹君

2名の方を3泊お世話した。

ジョン・スミス君 33才、2児の父、ニル病院理事、背丈が少々低い、信心深い、早口の活動家、喫煙しない。

エドウィン・ノースイースト君 34才、2児の父、工科大学を出た会計士、不動産会社役員、YMCA、ウオナンブル市社会奉仕委員会のメンバー、多才、沈着型、喫煙する。

お2人とも非常に健康、スポーツはゴルフ、テニス、クリケット、水泳などよくやっている。ビールは相当好きである。最近の医事関係のニュースにオーストラリアの成年男子は20人に一人はアルコール中毒？という記事も見えている。

ジョン君の病院は全科だが医師は2名、40ベッドの規模で、丁度私の処と似ているのでいろいろ専門的な話をし合ってみた。(通訳つきで) 医療の内容、設備、医療保険などは殆ど彼我に大差はない。しかしあなたは忙しい。殊に赤ちゃんは待って欲しくないからね、とよく言われた。

本を読めば、大ていのことは書いてある。しかし、其れが其の地域の気候、風土、民情の中で実際にどのように動いているのかを知ることが常に百聞は一見に如かずである。而して専門的な研修に大きい効果がある。しかしそれにも増して、お互の人間的な触れ合いがもっとも有意義で楽しかった。若い人達が微酔をおびて、夜の街の情緒を味わわせて上げた一駒もベリーグッドであった。